

令和6（2024）年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

醍醐中央児童館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
	(2) なわとび週間	4		6	75	3	4					88	なわとび検定の前段階	トントン跳びしか出来ない子どもも自分で好きな跳び方にチャレンジし自信に繋がっている。	
	(2) けん玉チャレンジ	3			19	1	2					22	けん玉検定の前段階からもしかめの自己ベストチャレンジまで行っている。	自分で好きな技にチャレンジし、やる気はぐくみ、自信に繋がっている。	
	(2) なわとび検定	6			45		13					58	なわとびの技術力向上を目標に検定表にそって検定を行う。	検定や級を設け子ども自身のやる気が出て取り組めた。練習時間が少ないのが課題。	
	(2) こま週間	3		3	30		4					37	こまの紐の巻き方、回し方を指導し、こま検定参加につなげる。	日頃こまで遊ばない子どもたちにも周知でき、検定参加につながった。	
	(2) こま検定	4		1	13		2					16	こまの技術力向上を目標に検定表にそって検定を行う。	検定や級を設け子ども自身のやる気が出て取り組めた。日頃練習する姿も見られた。	
	(2) けん玉検定	7		1	40	1	6					20	けん玉の技術力向上を目標に検定表にそって検定を行う。	検定や級を設け子ども自身のやる気が出て取り組めた。日頃練習する姿も見られた。	
	(2) マンカラ週間	7			112	3	32					147	マンカラを覚え、ルールの確認、大会に向けての練習会	ルールを守って楽しく遊び、毎日でもやりたいとの声もあった。の確認ができ、大会への意識向上につながった。	
	(3) ブラバン工作	3		5	29	15	13					62	ブラバンに自由に絵を描いて作品を作る。	個々に考えて自由な絵を描く作業は得意・不得意もあったが、作品が仕上がり満足そうな様子でよかった。	
	(3) プレゼント工作	3		1	28	2	9	2				42	アイロンビーズを使って御守りづくりを行う。	アイロンビーズで御守りを作成した。プレゼントする人を思い浮かべてそれぞれ素敵な御守りに出来上がっていた。	
	(3) ハロウィン工作	4		3	43	1	10					57	かぼちゃ帽子・バッグ・マントの3種類を工作する。	ハロウィンあそびで身に着けるだけでなく、パレードでも着用するので想像しながら楽しそうに工作できた。	
	(3) 干支工作	4			40	3	10					35	小さい色紙に和紙などを張り合わせ、来年の干支の作品づくりを行う。	福が来ますようにと願いながら、みんな楽しみながら自分だけの正月飾りが出来た。	
	(3) スライム	2		9	23	11	4					47	好きな色のスライムをつくる。化学反応をみたり、自由にさわって遊んだりして楽しむ。	色々な形にしたり、伸びるのを楽しんだりしてみんな笑顔で楽しい時間を過ごした。	
	(3) マンカラ大会	1			19	2	3					24	夏休みイベント、マンカラの大会	低学年、高学年に分けて行った。マンカラへの意識が高まった。	
	(3) 夏まつり実行委員会	14		1	41	5	75					122		積極的に参加し、各自責任感をもって実行委員の役割を全うし、楽しんでくれた。	
	(3) ハロウィン実行委員会	16		6	37	6	47					96	自主的に参加表明してくれた児童が企画段階から参加し、必要な	次回企画のやる気や自信につながっている。	
	(3) クリスマス実行委員会	7			17		40					57	備品づくりから当日の司会まで役割を担当する。		
	(3) お正月遊び実行委員会	10			42	2	39					83			
	(3) みんなであそび	2		3	45	1	12					61	ボールあそび、風船遊びを楽しんだ。	ルールを守って楽しく遊び、毎日でもやりたいとの声もあった。	
	(3) 夏まつり	1		7	22	9	7		1	4		50	スーパーボールすくい・魚つり・ヨーヨーすくい・コインおとしの4つのコーナー遊び、抽選会を楽しむ。	4つのコーナーとも集中して楽しんで遊んでいた。1年生はすべてのコーナーが初体験でとても楽しかった様子でした。	
	(3) ハロウィンパレード	1	1	4	24	2	4		5			40	ハロウィン工作で作成した物を着用し併設する商業施設内をパレードする。	評判も良く好評であった。来年もやりたいとの声がすぐに聞こえてきた。	
	(3) ハロウィンあそび	1	25	10	5	5	1		24			70	乳幼児、小学生が参加できるコーナーあそびを楽しむ。バセオ・ダイゴローアトリウムで開催。	土曜日、家族参加型の近隣イベントと合同で実施。仮装衣装に身を包みコーナー遊び満喫していた。参加者も実行委員メンバーも楽しくすごした。	
	(3) みんなでクリスマス	1		1	18	8	7					34	キャンドルサービスから始まり、クリスマスゲーム・ビンゴゲームなどを楽しんだ。	座って遊んだり体を動かして遊んだりするものもあり充実していて、最初から最後まであきらめことなく参加者は楽しめていた。	
	(3) お正月遊び	1		3	20	2	7					32	福笑い、はねつき、だるまおとし、お手玉投げ、たこ工作などお正月遊びを楽しむ。	正月あそびの各コーナー、それぞれお気に入りの場所に何度も並んで、笑顔で楽しそうに時間を過ごしていた。	
	(3) 館外活動「コカ・コーラ」	1		3	20	5	5					33	コカ・コーラボトラーズジャパンに工場見学に行った。	室内活動なので天候に左右されないのが好評でした。暑い季節なので熱中症対策がより必要。	
	(3) 館外活動「梅小路」	1		7	5	6						18	公共交通機関を利用出かける。秋の自然を感じて体を動かしてあそぶ	雨天中止になった。雨天プログラムに変更し、参加者たちと館内にて楽しくすごせた。	
	(3) 日野野外活動	1			12	7	6					25	日野野外活動センターでグランド遊び、牛乳パック工作などを楽しむ。	天候も良く活発に動き回ってとても楽しそうでした。また、行きたいとの声が上がっていた。	
	(4) クラブ紹介(手芸クラブ)	1			13	1	3					17		終了後にはどのクラブに入るなどやる気あふれる会話が飛び交っていた。	
	(4) クラブ紹介(おりがみクラブ)	1			13	1	3					17	各クラブ対象、人数、費用、日時、活動内容などわかりやすく説明を行う。		
	(4) クラブ紹介(チャレンジクラブ)	1			13	1	3					17			
	(4) クラブ紹介(将棋クラブ)	1			13	1	3					17			
	(4) おりがみクラブ	23		8	186		3				1	198	季節にちなんだ作品作りを中心に折り方など丁寧に指導。	沢山のかわいい作品作りが出来、子どもたちの満足度も高かった。	
	(4) チャレンジクラブ	22			85	1	21					107	年度初めに何にチャレンジするか参加者で会議をし決定したものにチャレンジする。	クラブ中はしっかりと集中して取り組むことができ、後半からは参加者も増えた。	
	(4) 手芸クラブ	24		60	42	96	10				1	209	運針の仕方から始まり、簡単な作品から季節にちなんだ作品づくりまで行う。	子どもたちの意見も取り入れながら完成度の高い作品作りができた。	

	(4) 将棋クラブ	22			76		46					122	コマの動かし方、並べ方から丁寧に指導し、対戦を中心にすすめる。	初心者は順序立てて繰り返し練習することで着実に力をつけていった。対戦をくり返すことで実力も上がってきた。	
	(7) 中高生タイム	8				3		7				10	毎日17時から18時30分まで中高生が自由に児童館で過ごせる時間となっている。また月一回企画行事を設定している。年度最終月にはブレ中学生の参加イベントを企画。	現在は学童08が中心で参加人数も少ない。中高生世代と赤ちゃんとの交流活動などで東陵高校生に広報しているが来館までにはつながっていない。	
	合 計											2090			
推 進 活 動	(2) エコデー	12	1	7	253	9	47		5			9	331	ゲームや映像・遊びなどを取り入れながら楽しく身近なエコについて学ぶ。毎月1回実施。そのうち年4回はエコまちステーションの方に依頼している。	ゴミの分別は学童クラブのおやつの時間に実行している。分別の理解につながっている。エコデー参加ごとにエコカードにシールを貼っていくことで楽しみが増している。
	合 計	12	1	7	253	9	47	0	5	0	0	9	331		
	子ども育成機能 合 計	12	1	7	253	9	47	0	5	0	0	9	2421		

*注 基本活動は、 指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、 指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、 指定児童館のみ別途報告すること。

		活動名	実施回数	参加人数										内 容		成 果 と 課 題		
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア							合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人					
子ども 家庭 支援 活動	基本活動	(1) ②うさちゃんランド	149	1264					10	1194				2468	乳幼児専用の玩具が使えるよう設置し、自由に親子で楽しめる場所と時間を提供する。	保護者同士の情報交換・関係構築の場となった。昨年度よりも大幅に利用者が増加した。		
		(1) ②スマイルランチ	145	361					3	324				688	持参されたランチを食べるスペースを提供する。	登録乳幼児クラブ後にランチ会をされたり、ママ友と待合せをしてランチ会など保護者同士の情報交換・関係構築の場となった。		
		(1) ②親子であそぼ！	21	280						394		3	2	679	季節行事や消防車見学、子育て講座など家庭で出来ない遊びや、歌や体操、手遊び、ふれあい遊び、パネルシアターなど親子で楽しみ、保護者の交流を支援する。	イベント内容により電話申込あり、当日参加者ありなどにしたところ参加者が大幅に増加した。参加者からも楽しかったと好評であった。		
		(1) ①ぞうさんクラブ	18	71						71				142	年齢発達に応じた年間カリキュラムを組み、取り組みを通して親子で楽しみ、保護者同士の交流を支援している。	家で出来ないことが出来ることと好評頂いている。登録児童の減少が課題。		
		(1) ①ニコちゃんクラブ	18	122		5				125	8	1	1	262	季節にちなんだ年間カリキュラムを組み、親子で楽しみながら成長発達を見守り、就園前の社会生活、集団遊びを経験する。保護者同士の交流、仲間づくりを支援する。	1歳クラスと合併しているので年齢幅が出ている、カリキュラムを調整して親子で楽しく取り組むことができた。		
		(2) うさちゃんタイム	21	104						99			1	204	手遊び・ふれあい遊び・読み聞かせ・工作などに親しみ、親子のつながりを支援する。	職員ごとに演目が違うことや、申し込み不要の気軽さが好評頂いている。		
		(2) ベビーマッサージ	3	20						26				46	助産師・看護師・ベビーマッサージ講師の杉野氏、中島氏の指導の元、親子で楽しんで学んでいただく。	人気があり問合せや参加者が増加した。親子で楽しんでもらえた。		
		(2) 親子ストレッチ体操	1	10						11				21	背骨コンディショニング協会認定インストラクターの西山氏と一緒に親子でお家でも、できるストレッチ体操のプログラム	好評で参加者から企画のアンコールを頂戴した。来年は開催回数を増やすか検討		
		(2) 親子体操	4	35						37				72	ガッツ体操クラブの松浦氏指導の下、親子で体を動かして楽しめるプログラム。	参加された保護者から大変、好評で毎回楽しく参加いただいている。		
		(2) 避難訓練	4	30						40				70	来館者対象に避難経路案内・防災意識を高めるため紙芝居など利用してわかりやすく取組んでいる。	説明会などで避難経路の案内をしているが、認知度が低かった。避難訓練を行うことで認知度が高まった。		
		合 計	384	2297		5			13	2321	8	4	5	5037				
	活動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路					件数		相 談 内 容		件数	つないだ機関等		件数	
			乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }							健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }			児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }			
			件数 計	0	—					0		—		0	—		0	
			(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名		構成人数		活 動 内 容					育成・支援内容			成果と課題		
推進活動	(5)子育てと健全育成に関	活動名		実施回数		活 動 内 容							成 果 と 課 題					

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動]（2）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活 動 名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合 計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
地 域 基		学区社協定例会	10	学区社協									会議等に参加する事で児童館としての意見、求められる役割を認識できた。	
		学区社協会計監査・自町連会計監査	2	学区社協・自町連										
		学区社協総会	1	学区社協										
		自町連定例会	1	自町連										
		子どもの居場所会議	11	醍醐西子どもの居場所									運営についてだけでなく子どもやその家庭の個別ケースについても情報を共有することができた。	
		子どもの居場所	11	醍醐西子どもの居場所									主任児童委員さんと協力し、サロンを運営することが出来た。参加者も昨年度より増加した。	
		子育てサロン	11	民生児童委員協議会	37					49	86	民生委員		
		ファミリーサポート登録会・講習会	4	児童館	3					8		連盟、消防	講習会では普通救命救急講習を実施、講習会、登録会ではリーダーさんに直接経験談など質問ができるなどのメリットを広報することを検討。	
		中高生世代と赤ちゃんとの交流活動	4	児童館	18		10	1		12	20	61	東稜高校	乳幼児さんとの異世代交流ができた。今年度より取組内容を改めて進めた。参加者たちには好評で継続して参加してくれる中高生が増えた。
		わかばまつり	1	学区社協								240	地域各団体	コーナー担当し、一緒にわかばまつりを盛り上げ、楽しい時間を共有できた。
		醍醐西こどもまつり実行委員会	4	醍醐西こどもまつり実行委員会							40	40	小学校、小PTA、小OB会、女性会、民協、体振、中山保育園、中山児童館	各団体ご協力の下、醍醐西こどもまつりを円滑に進めることが出来た。
		3施設合同会議	5	醍醐西基幹ステーション							25	25	中山児童館 中山保育園	醍醐中央児童館・中山児童館・中山保育園の3施設合同会議を行うことでステーション事業を円滑に進めることができた。
		ST事業「人形劇ラディシュ」	1	醍醐中央児童館 中山児童館 中山保育園 醍醐西民協	38						11	49	中山児童館 中山保育園 醍醐西民協	醍醐中央児童館・中山児童館・中山保育園の3施設が醍醐西ステーションとして京都地域子育て支援ステーションを担っていることを周知・伝達できた。時間いっぱい親子で楽しい時間を過ごされていた。
		醍醐西こどもまつり	1	醍醐西こどもまつり 実行委員会	34	51	7	30		30	58	210	小学校、小PTA、小OB会、女性会、民協、体振、中山保育園、中山児童館	醍醐西小学校の全面協力の下、子どもたちが楽しい時間を過ごせて大変良かった。
		ST事業「クリスマスだよみんなであそぼう」	1	醍醐中央児童館 中山児童館 中山保育園 醍醐西民協	44	22	3	2			56	127	中山児童館、中山保育園、伏見区社協醍醐分室、醍醐西民協図書館	アトリウムで開催したことで、児童館やステーション事業の宣伝に繋がった。バセオ内の施設とも連携が深まった。子どもたちが楽しめるコーナー遊びを展開した。職員も日頃の事業に役についたことが多く勉強になった。
	合 計	69	－	174	73	20	33		42	267	838			
	(2) ボランティア活動の推進	活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題					
					中高生	大学生	大人	合 計						
		合 計	0	0	0	0								
福 祉 促 進		連 携 団 体 等	連 携 内 容							成 果 と 課 題				
		はぐくみ委員会 醍醐管内の保育園、幼稚園、児童館、小学校、中学校	・ 醍醐ふれあいプラザ、醍醐福祉のまち交流大会などに参加、協力の伴う企画打ち合わせ(醍醐ふれあいプラザ、支援ステーションのコーナー担当) (福祉のまち醍醐交流大会、じどうかんの活動写真を展示) ・ だいごっこに伴う内容作成、配布 ・ 研修会、意見交換会							・ 支援ステーション施設との連携強化 ・ 支援ステーション事業広報と情報交換				
		醍醐地域子育て支援ステーション会議	・ 醍醐西額地域子育て支援ステーション事業の計画・実行・総括について情報交換 ・ 研修会							・ 事業だけでなく、児童や家庭の課題や支援についても情報交換できた。 ・ それぞれの役割や連携の仕方について経験の積み重ねができています。				
		醍醐西小学校	・ 毎月児童館便りと行事ポスターを配布・ST事業での連携、おたより交換 ・ 学童クラブ登録児童について懇談・相談							・ 情報交換、小学校の現状を知ることができる。				
		池田小学校	・ おたより交換 ・ 学童児童について担任の先生との懇談、相談							・ 情報交換、小学校の現状を知ることができる。				
		池田東小学校	・ おたより交換 ・ 学童児童について担任の先生との懇談、相談							・ 情報交換、小学校の現状を知ることができる。				
		かがやき保育園	・ 登録受け入れ児童についての懇談							・ 学童登録児童の就園時の生活など情報収集することができる。				

機 動 能

(3) 地域との連携を促進する活動	中山保育園	・登録受け入れ児童についての相談 ・ステーション事業での連携 ・保育園行事への参加 ・おたより交換	・学童登録児童の就園時の生活など情報収集することができる。 ・ステーション事業や保育園行事への出席を通して職員同士の交流ができてい
	あけぼの子ども園	・登録受け入れ児童についての懇談	・学童登録児童の就園時の生活など情報収集することができる。
	醍醐西民生児童委員協議会	・毎月児童館便りと行事ポスターを配布・子育てサロンの開催場所提供 ・醍醐西こどもの居場所、ステーション事業での連携	・いろいろな場面で連携することがあり、関係構築が出来ている。 ・まつり行事では主体的にご協力頂き、欠かせない存在となっている。
	醍醐西学区社会福祉協議会	・学区社協定例会議 事業報告・企画・わかばまつり・ステーション事業 ・醍醐西こどもの居場所で連携。	
	醍醐西女性会	・学区社協定例会議 事業報告・企画 ・醍醐西こどもの居場所・わかばまつり、醍醐西こどもまつりで連携	
	醍醐西小PTA・PTAOB会	・わかばまつり・醍醐西こどもまつりで連携	
	醍醐西子どもの居場所実行委員会	・子どもの居場所づくり会議や子どもの居場所で連携	・子どもの居場所が定着し、職員をスタッフとして派遣することで連携が深まった。 ・学童クラブ土曜日利用児童が参加できるよう連携を図っている。
	醍醐老人福祉センター	・世代間交流 ・社協３施設合同防災訓練	・サークルとの交流はできなかったが、当日の利用者の代表にプレゼント贈答で交流を図った。 ・社協施設合同で年1回防災訓練をしている。
	醍醐デイサービス	・世代間交流 ・社協３施設合同防災訓練	・夏まつり会場の装飾を児童館の子どもたちが作成、まつりにも参加し利用者の方と交流した。 ・敬老のお祝いのプレゼントを作って贈呈した。 ・干支の貼り絵のミニ色紙を作成し、利用者全員に贈呈した。 ・社協3施設合同で年1回防災訓練をしている。
	醍醐子ども支援センター	・乳幼児行事ポスター、ちらしを毎月配布 ・だいごっこ	・広報が定着している。連携を密にしていく。
	醍醐保健センター	・乳幼児行事ポスター、ちらしを毎月配布 ・親子講座	・保健師による子育て親子講座を開催した。参加者たちに好評であった。
	醍醐エコまちステーション	・エコデーに協力	・協力を依頼し連携ができています。
	山科警察署	・セーフティー教室・防犯教室・交通安全教室・非行防止教室 ・職員研修に協力いただいている	・行事に協力依頼、不定期にスクールサポーター来館、連携ができています。 ・職員研修（不審者対応や護身術）をしていただき、備品の装備や職員の学びに繋がって
	醍醐消防分署	・消防自動車見学・避難訓練・防災教室	・避難訓練や見学を通して、防災意識に働きかけることが出来た。
	醍醐中央図書館	・読書週間・季節行事の参加・ポスター掲示協力 ・児童館での毎月一回の読み聞かせ ・ステーション事業での参加協力	・ポスターの相互掲示。・イベント参加の呼びかけなども受け関係が出来ている。 ・次年度も引き続き、月に1回図書館の読み聞かせを行事として実施。子どもたちの集中して話を聞く姿勢が向上している。
	醍醐交流会館	・ポスター掲示協力	・ポスター掲示協力依頼し、協力を得ることができている。・会議室の借用。
	アルプラザ平和堂	・行事ポスターを毎月掲示協力依頼	・広報が定着している。連携を密にしていく。
	醍醐センター (パセオダイゴロー西館)	・行事ポスター、ちらしを毎月掲示協力依頼 ・防災訓練や防災研修、消防設備点検 ・ステーション事業でアトリウムや備品を借用	・広報が定着している。 ・イベント開催時に連携を図っている。 ・児童の安全面（警備）や設備（設備）について相談したり情報交換ができています。 ・パセオ西館の1テナントとしての役割を果たしている。

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容	
			醍醐西地域子育て支援ステーション		(ステーション事業) 中山児童館 中山保育園 醍醐西民協 (醍醐西子どもまつり) 中山児童館・中山保育園 醍醐西民生・児童委員協議会 醍醐西小学校 醍醐西小学校PTA 醍醐西小学校OB会 醍醐西小女性会 醍醐西小体育振興会		5月28日		令和6年度事業計画 8.9月事業協議	
							8～11月		醍醐西こどもまつり実行委員会4回	
							10月28日		8.9月事業報告会 11.12月事業協議	
							1月28日		令和6年度事業報告 令和7年度事業計画	
							5月28日		研修「児童館の取組から」	
							8月30日		研修 「子どもまんなかの取組」	
	醍醐西子どもの居場所		醍醐西学区社会福祉協議会 醍醐西小学校 山科醍醐こどものひろば 醍醐支所子どもはぐくみ室 子ども育みサポーター 伏見区社会福祉協議会 醍醐西民協		月1回程度		実行委員会の実施 子どもの居場所開催 次回の子どもの居場所開催日・会議 日等の決定 子どもの居場所参加者の情報共有 前回の振り返り			
	推 進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使 用 目 的		提供先（団体・機関等）			
			子育てサロンの場所提供		子育てサロン		民生児童委員協議会		民生主任児童委員が尋ねて相談に応じている。で参加者が増加した。	
醍醐西こどもまつり会議会場			醍醐西こどもまつり会議		醍醐西基幹ステーション 子どもまつり実行委員会		集合しやすい場所と1			
地域のひな祭り会参加者控室の場所提供 カセットデッキ・テープ・マイクの貸し出し			地域のひな祭り会に使用		学区社協		ひな祭り会に参加出席者 打ち合わせやリハーサル 年ひな祭り行事に貸し出し			
(6) 地域調査活動		調査名	調査目的	調査対象	調査主体		調査方法			
		乳幼児クラブ 年度末アンケート	保護者の意識調査 次年度の運営参考資料	乳幼児クラブ登録者	児童館		その場で記入・回収		利用者のニーズ調査も して参考になっている。	
		親子であそぼ アンケート	参加者の意識調査 次年度の運営参考資料	親子であそぼ！参加者	児童館		その場で記入・回収		就園年齢が下がり、参	
		子育て講座 アンケート	参加者の意識調査 次年度の運営参考資料	子育て講座参加者	児童館		その場で記入・回収		講座の振り返りを行い	
		ステーション事業 アンケート	参加者の意識調査 次年度の運営参考資料	行事参加者	児童館		その場で記入・回収		ステーション企画の振 る、	
		中高生世代と赤ちゃんとの 交流活動アンケート	参加者の意識調査 次年度の運営参考資料	中高生 乳幼児保護者 東稜高校先生	児童館		その場で記入・回収		振り返り、次回企画や 東稜高校の生徒指導部	
		市社協児童利用者共通 アンケート	利用者ニーズ調査 サービス質向上	乳幼児保護者 一般来館者 (小・中・高生)	児童館		アンケートフォーム その他で記入、回収		子ども達の生き生きと を得ることができまし	

成果と課題
理解や共有が出来たことによりご協力が 頂けた。
理解や共有が出来たことによりご協力が 頂けた。
理解や共有が出来たことによりご協力が 頂けた。
理解や共有が出来たことによりご協力が 頂けた。
民生委員さんや主任児童委員さんに取組内容、児童館と の連携を理解していただける機会になった。
子どもたちとの取組について共通理解いた だけた。
子どもの居場所には毎回職員が参加し、 貢献している。参加者に児童館の行事等 の広報も行っている。 実行委員会では子どもとの家庭の個別課 題についても情報共有している。
成果と課題
乳幼児保護者の悩みなどを聞き、子育て 2ヶ月に一回、お茶会を開催すること
して、毎年活用されている。
寅される地域の方の控室を提供。事前 サルなどに使用されている。備品は毎 し出ししている。
成果と課題
出来、来年度のカリキュラム作成資料と
加者の低年齢化が進んできている。
、講師にも共有している。
り返り、来年度運営の参考に役立ててい
来年度運営の参考に役立てている。 とも共有している。
した様子から児童館の活動に概ね好評価 た。

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより（乳幼児編）	月に1度	乳幼児クラブ登録者 施設利用乳幼児親子 地域住民・小学校 醍醐山科ブロック各館 乳幼児クラブ登録者 地域団体、民生児童委員 社協、各館	乳幼児クラブ登録者にさくらdaysにて送信 自由来館者に配付 各種団体会議の際配付、郵送 醍醐山科ブロック会議の際各館に配付 館内掲示・公式ホームページ ちらしとして館内に設置	月の行事や内容 幼児クラブのお知らせ 乳幼児親子の活動における広報 先月の活動報告と写真掲載 児童館の利用方法	ホームページ掲載の児童館だよりを見て行事参加、問い合わせが増加した。 新しく来られた乳幼児親子さんに、児童館利用説明する際に用いたり、自由来館者へ広報したりしている。
	児童館だより（小学生編）	月に1度	醍醐西小全校児童家庭 施設の利用児童とその保護者 地域住民・小学校 醍醐山科ブロック各館、社協 地域団体、民生児童委員 学童クラブ登録者児童とその保護	醍醐西小学校にて全戸配付 自由来館者に配付 各種団体会議の際配付、郵送 醍醐山科ブロック会議の際各館に配付 ちらしとして館内に設置 館内掲示・公式ホームページ 学童登録家庭にさくらdaysにて送付	月の行事や内容 小学生の活動における広報 先月の活動報告と写真掲載 児童館の利用方法 行事参加申し込みなどの広報 子ども実行委員の募集など掲載	学区内の小学校には全校児童配布広報が来ているが、なかなか利用にはつながっていない。広報方法については検討が必要。
	親子であそぼ！ 親子講座 ポスターとちらし	月に1・2度	乳幼児親子	はぐくみ室 地域広報版・図書館 ダイゴロー・アルプラザ平和堂 館内掲示・公式ホームページ ちらしとして館内に設置	親子であそぼ！親子講座について 日時や内容（詳細など） わかりやすいように写真や 絵を入れる。	地下鉄駅直結、大型商業施設内の児童館なのもあり、近隣よりは遠方からの参加も増えている。イベント内容によって電話申し込み可能、当日参加可能が周知されるようになり参加者も昨年度より増加した。
	子育てサロン・にこにこのお知らせ ポスターとチラシ	月に1度	乳幼児親子	はぐくみ室 地域広報版・図書館 ダイゴロー・アルプラザ平和堂 館内掲示・公式ホームページ ちらしとして館内に設置	子育てサロンについて 日時や内容 わかりやすいように写真や 絵を入れる。	地下鉄駅直結、大型商業施設内なこともあり他区、他学区からの参加者が多かった。民生児童委員と協力し2ヶ月に1回、お茶会を開催することで利用者の参加が増加した。近隣からの参加利用を多く誘致できるように検討。
				ちらしとして館内に設置		
	パーチク通信 （学童クラブだより）	月に1度	学童クラブ登録者児童とその保護者 学校・ブロック・社協・児童館	登録児童に配付、さくらdaysにて送信	月の行事や内容 日々の子どもの様子 児童の活動紹介	学童クラブ保護者に日々の子どもの様子がどのように過ごしているのか、わかりやすく掲載し興味・関心をひいている。
	一般行事のお知らせ ポスターとちらし	企画毎	全校児童 施設の利用児童	醍醐西小学校 アルプラザ平和堂・ダイゴロー 地域広報版・図書館 館内掲示 ちらしとして館内に設置	行事の詳細 わかりやすいように写真や 絵を入れる。	近隣施設に広報することで他地域・他校からの参加者に繋がっている。
	ステーション事業 ポスターとちらし	企画毎	乳幼児親子 社協・PTA・学校・地域 醍醐西小全校児童 施設利用児童	ちらしとして館内に設置 親子であそぼ！参加者に配付 自由来館者に配付 ネットワーク会議の際各館に配付・公式ホームページ 小学校・地域広報版・図書館 アルプラザ平和堂・ダイゴロー	行事の内容、日時をわかりやすく、掲載する	本年度は小学生対象「醍醐西こどもまつり」、乳幼児対象「人形劇」、「親子あそびランド」の3つを実施し、地域をつなぐ、地域活性化の一端として機能している。
	乳幼児クラブ募集要項 ポスターとちらし	年1度	乳幼児親子	はぐくみ室・醍醐交流館 地域広報版・図書館 ダイゴロー・アルプラザ平和堂 館内掲示・公式ホームページ ちらしとして館内に設置	乳幼児クラブの募集要項 年齢別、曜日別、募集人数 を掲載	前年度登録されていた方は仕事復帰されるため、保育園や幼稚園に登録されることが多く、4月当初は0歳児クラス「ぞうさんクラブ」への応募が少なかったが、少人数ではあるが開催することができた。1歳児以上クラス「ニコちゃんクラブ」は参加人数も多く、参加親子からも好評でした。今年度もはぐくみ室や醍醐西交流館にもお願いしポスター掲示してもらった。
	リーフレット	通年	施設利用乳幼児親子 地域住民	利用案内として館内・外に設置	児童館の利用方法 児童館活動内容など	新しく来館される親子さんに、児童館利用の説明の際に利用したり、自由来館者への広報として設置していたりしている。